

紅葉の「源氏の里 宇治」を歩く

12月8日(月)、当日は数日前の雨風がまるで嘘のように、風もなく青空が広がる穏やかな天候に恵まれました。近鉄「大久保」駅からのバス組、JR宇治駅からの電車組が駅前で合流、23名の方が参加されました。宇治橋の袂の公園で、資料配布、簡単なコース説明を行い10時にスタート。

まずは最初の目的地、世界遺産宇治上神社へと宇治川宇治橋を渡る。中ほどで、「宇治茶まつりには、豊臣秀吉に倣って茶の湯に使う水を今も汲み上げる処」と参加者から聞き、川に突き出た「三の間」から下を覗いてみる。意外に流れが速い。

途中の宇治神社では本殿前に設えられた稲わらで作った大きな輪を、「厄除けでしょうか」と皆さん潜られる。目的の世界遺産宇治上神社は、目を惹く朱の鳥居、拝殿や本殿の新しく葺き替えられた屋根の美しさに皆さん見とれる。



(宇治上神社本殿)

川沿いに興聖寺へと歩く。琴坂と呼ばれる坂を上って興聖寺の白塗りの門を潜るとゴーンと鐘の音。修行僧が鐘を突いて手を合わせておられた。



(興聖寺にて：弓場さん)

天ヶ瀬吊橋へとそぞろ歩く宇治川沿いの紅葉は緑、黄、橙、赤のグラデーションが水面に映り、

何とも言えずただ見とれるのみ。皆さん、デジカメ、スマートフォンで映される。

鷺、カルガモ、アオサギ、鶺鴒などの水鳥やセキレイも見かけ、ウメモドキ、ナナミノキ、サネカズラの赤い実にも出会い、シリブカガシのどんぐりを拾い、自然好きの皆さんは大いに楽しまれている。



天ヶ瀬吊橋を対岸へ渡る。歩道には散ったモミジの自然な写し模様が見られた。

紅葉谷に入るとモミジは足元に散り積もっている。ひんやりとした紅葉の下での昼食を変更、白山神社近くの開けた道端で木々を眺めながら、のんびりと美味しい昼食を戴きました。

白山神社の長い階段を上ると草むす茅葺の屋根が古い歴史を偲ばせてくれる。

今日の最後の目的地、宇治平等院へ向かい、1時半頃には平等院の正面入り口に予定通りに到着。ここからは自由行動で、JR奈良への乗車時間に再集合することにする。それまで、平等院の庭園を巡るグループ(園内鳳凰堂入館は1時間待ちということで、残念ながら皆さん諦めざるをえませんでした。)、宇治茶と和菓子を味わう方達、街歩きを楽しむ方達、其々に分かれてフリータイムを過ごしました。その後、忘年会会場の奈良へ。



皆さん、其々の宇治を愉しんで頂けたでしょうか。無事、12月の研修会を終えることができ皆様に感謝しています。ご協力ありがとうございました。
(山中箏子)